

茨城県立内原特別支援学校 部活動に係る活動方針

令和8年4月

1 部活動の基本的な考え

- 生涯にわたって自ら運動に親しむ態度を育て、将来の余暇活動につなげる。
- 部活動をとおして、自主的・自発的に活動する力を身に付け、協力して活動する力や責任感を養う。
- 友達や教師との活動をとおして、信頼関係を深め、好ましい人間関係を築く。
- 何事にも真剣に取り組む習慣を育て、目標に向けて挑戦する気持ちを育てる。

2 参加対象生徒

- 自力通学者で本人が希望した生徒
- 自主通学者で本人が希望し、15：45 までに保護者の迎えが可能な生徒
- 自力通学者以外で保護者の付添いが可能な生徒
(安全管理・事故防止上、保護者の部分的な支援等を受けて活動するため。)
- 「高等部生活のきまり」を遵守して生活し、部活動に対する参加意欲があると認められる生徒

3 活動内容

- 【運動部】球技、ボッチャ、フライングディスク等を中心に実施する。
その他、さまざまな障害者スポーツ等を中心に幅広く実施する。
※今後、部員が増加した場合、活動する競技や内容の変更等を行うことを可能とする。
- 【文化部】創作活動等を中心に実施する。

4 活動日・時間等

- 活動日・・・活動計画で定められた金曜日の週1回を基本とする。文化部は月に2回程度とする。
- 活動時間・・・1日1時間程度(15：10～16：00)とする。なお、朝の活動は行わない。
- 実施について
 - ・職員会議等、全職員がかかわる会議日、緊急の会議が設定された場合には実施しない。
 - ・現場実習(校内実習含む)及び個別面談期間中、学校行事日には実施しない。
- 参加について
 - ・欠席する場合は、担任を通して部活動担当者へ必ず連絡する。
- 長期休業中の実施について
 - ・実施しない。

5 担当教員

- 高等部職員による輪番制
※活動日の参加生徒数や実態に応じて指導人数を調整する。

6 指導計画・通知

- 部活動担当は、年間活動計画並びに毎月の活動計画・活動実績を作成する。

7 入退部の手順、手続き

○入部について

(高等部1～3年生共通)

- ・「部活動希望・継続届」により、参加意欲がある生徒を把握する。必要に応じて、各担任より個別に部活動の内容や意義・入部条件等について説明する。

(新規入部希望者)

- ①「体験入部希望届」を配付する。体験入部希望者は、保護者の承諾を得たうえで「体験入部希望届」を学校へ提出する。部会で検討し、校長が認める場合には、体験入部を承認する。体験入部は3回程度実施する。
- ②体験入部終了後、「部活動入部届」を保護者に配付する。入部希望者は、保護者の承諾を得たうえで「部活動入部届」を学校へ提出する。
- ③部会で検討し、校長が認める場合には、正式入部とし、入部承認書を保護者へ配付する。

(継続入部希望者)

- ①「部活動希望・継続届」の提出を確認後、「部活動入部届」を保護者に配付する。入部希望者は、保護者の承諾を得たうえで「部活動入部届」を学校へ提出する。
- ②部会で検討し、校長が認める場合には、正式入部とし、入部承認書を保護者へ配付する。

○退部について

- ・生徒、保護者の意思により随時退部が可能である。
- ・退部希望者は、保護者の承認を得たうえで、「部活動退部届」を担任に提出する。
- ・部会で検討し、校長に報告する。

8 経費

○運営費

- ・なし

○その他

- ・活動費、大会参加等での交通費等、必要な経費については実費自己負担とする。

9 対外行事や大会への参加

- 生徒の経験拡充のため、対外行事や大会（マラソン大会や障害者スポーツイベント等）への案内を行い、保護者責任の下、生徒の実態に応じて積極的な参加を促す。

10 けが・事故等への対応

- 日本スポーツ振興センターの災害救済給付制度により対応する。
- 事故・怪我等の対応は、学校緊急対応マニュアルを基とし、対応する。
- 感染症等対策として
 - ・石けんでの手洗い、手指の消毒を励行する。
 - ・活動中は、窓を開ける等して風通しの良い空間で行うようにする。

11 熱中症への対応について

○部活動開始前に活動場所におけるWBGT指数を計測し、下記の基準の下実施する。

WBGT 指数	21℃～25℃	25℃～28℃	28℃～31℃	31℃以上
対応	注意 熱中症の兆候に注意する。運動の合間に水分と塩分の補給を行う。	警戒 積極的に休息を取り、水分と塩分を補給する。 激しい運動では30分間おきくらいに休息をとる。	厳重警戒 激しい運動や持久走は避ける。積極的に休息を取り、水分と塩分を補給する。 体力のない者や、暑さに慣れていない者は、運動中止とする。	運動は原則中止

- ・熱中症が疑われるときは、保健室等の涼しい場所へ移動させ、身体を冷やすとともに、水分と電解質を速やかに補給させる。(管理職への報告)

12 その他

○最低入部人数について

- ・入部生徒数が2名に満たない場合には、実施しない。

○水分補給について

- ・活動中は、適宜水分を補給し、スポーツドリンクの飲用も可とする。

○落雷への対応について

- ・落雷の兆候がある場合は、活動を中止し、教室で待機させる。コドモン配信又は電話にて、保護者へ連絡する。

○文化部について

- ・令和6年度より希望者がいないため実施していないが、生徒から希望が出た場合には検討する。